

# Unisys ClearPath<sup>®</sup> Server CS470L

UNISYS



Unisys ClearPath Server CS470Lは、Intel Xeonプロセッサを搭載した最新の小型メインフレームです。オペレーティングシステムは、1961年に提供を開始したMaster Control Program (MCP) を搭載、最新のハードウェア技術と半世紀にわたって機能拡張を続けるMCPソフトウェアの組み合わせで、お客様のアプリケーション資産とデータ資産をそのまま継承します。またiPhoneなどのモバイル連携を可能にするClearPath Portal機能やWindows<sup>®</sup>Serverの開発環境でメインフレームの統合アプリケーションを簡単に構築するABSuite<sup>®</sup>を提供することで、さらに使い易く運用しやすいシステム環境を提供します。お客様の貴重なIT資産を価値創造へと進化させる、企業のビジネス・インフラストラクチャとしてCS470Lを提供いたします。

# さらなる処理性能と提供機器類を大幅強化、 最適な基幹システムとしてお客様の要求に応える ClearPath Server CS470Lシリーズ

# CS470L



ClearPath Serverの小型機シリーズの最新機種となるCS470Lは、8Core Intel®Xeon®プロセッサを2個搭載、従来機と比較して約33%の最大処理性能向上を実現し、I/O CMOS大型機のCS600Lシリーズの性能領域に到達しています。また、内蔵ディスク容量やネットワークポート数を倍増すると共に、ファイバーチャネルの転送速度も2倍とするなど、従来機から大幅な機能拡張を図ることで、より広範なシステム環境を提供します。

## 提供モデル

CS470Lをご利用いただくにあたっては、2つの提供モデルから最適なものをお選びいただけます。お客様のニーズに合った契約形態で、ROIを高めることができます。

## 小型機としての「充分な性能」を「より廉価に」提供する"CALモデル"

CALモデルは、ユーザ数に合わせて料金を設定するユーザライセンス契約の方式を採用。ユーザ数の増加が生じて、投資を無駄にすることなく、最適なライセンス数でご利用いただけます。ライセンス数は、最少8から最大544まで、必要に応じて8ライセンス単位で追加が可能です。

## 処理能力の増強が可能な"パフォーマンスモデル"

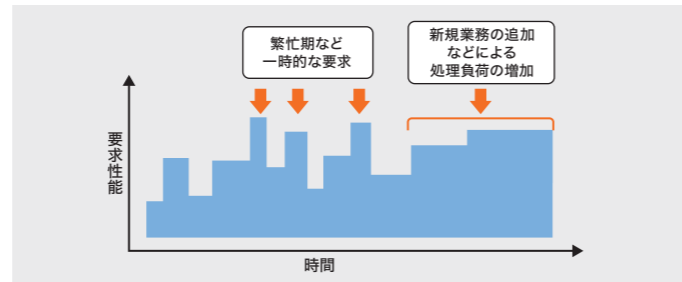
パフォーマンスモデルでは、972~2,430RPM（注）までの間で異なる処理性能を提供するモデルです。この提供形態により、段階的なアップグレードはもちろん、必要ときに必要な性能が得られるキャパシティ・オン・デマンド（COD）機能を採用することも可能です。トランザクション量の増大や月次処理など一時的な処理量増大にも対応可能な契約形態です。

（注）RPM（Relative Performance Measurement）は、MCP系プロダクトの性能を表す独自性能単位です。MCP（Master Control Program）はUnisys Corporationが開発したオペレーティングシステムです。

## 最適な性能レンジと開発環境

### 必要なときに必要な性能を、 キャパシティ・オン・デマンド機能（COD）

キャパシティ・オン・デマンド機能はMaster Control Programが提供する動的プロセッサ性能制御機能です。実装された物理プロセッサの潜在的な処理性能を必要に応じて動的に追加できます。このキャパシティ・オン・デマンド機能により、予想外の急激なデータ増、トランザクションの季節変動、予期せぬシステム障害等の対応が容易になります。



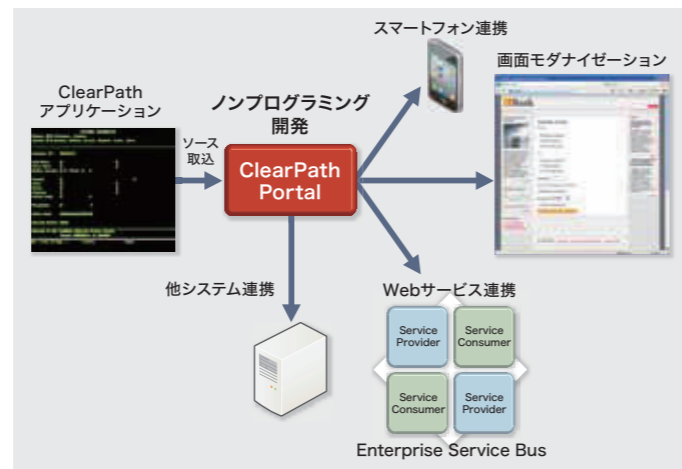
CODは利用形態に応じて

- TW（テンポラリー・ワークロード）：ビジネスにおける突発的な業務量の増加に対応
- ER（エマージェンシ・リカバリ）：他サーバで発生した障害や予測できない性能ロスをカバー
- DR（ディザスタ・リカバリ）：災害にあった他サーバの性能ロスをカバーの3種類が提供されます。

## Web/モバイル連携、モダナイゼーション、開発環境

### 基幹系アプリケーションをモバイル端末で活用、 最先端ビジネスを提供するClearPath Portal

ClearPath Portalは既存システムのモダナイゼーションを支援するWeb連携ソリューションです。従来の専用端末からしかアクセスできなかった基幹系アプリケーションを、付属のDeveloperを用いてノンプログラミングでWebブラウザ、モバイル端末、スマートフォン、Webサービスと連携させることができます。Developerで作成したWebアプリケーションは、Web連携用にセキュリティを強化したClearPath Portalで実行されます。

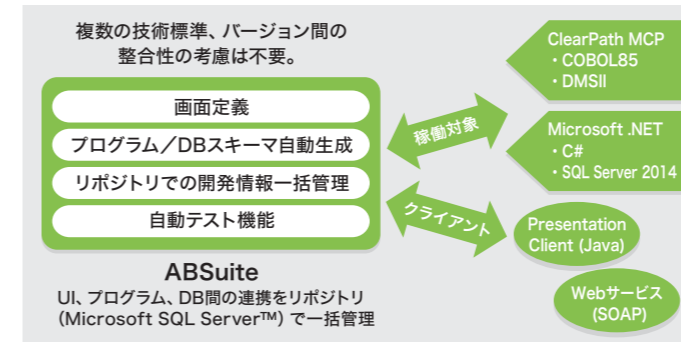


## 統合開発/実行環境 ABSuite®登場

ABSuite®(注1)は、統合アプリケーションを素早く簡単に構築し、統合的に保守・管理が出来るツールです。ABSuiteの開発環境は、Microsoft®社のVisual Studio®2013にスナップインしています。

- PIM(注2)型開発：稼働対象プラットフォームを意識することなく、データベース連携を含むオンライン・トランザクション、バッチシステムなどを効率的に開発することができます。
- ターゲットとなるシステムは、Microsoft .NET FrameworkとClearPath MCPです。
- 自動テスト機能を標準でサポート 煩雑で単調な確認作業の負荷を軽減します。
- 高生産性スクリプト言語LDL+ (注3)を採用 LINC®2000 Developer 3.3で記述されたSW (LDL) 資産からも簡単に移行することができます。

注1) ABSuite : Agile Business Suite 注2) PIM : Platform Independent Model  
注3) LDL+ : Logical Definition Language plus



## その他の主な機能

### 基幹システムを守る高度なセキュリティと暗号化を実現

#### ●セキュリティと暗号化

CS470Lシリーズでは標準機能として提供するシステム・アクセス制御に加えて長年にわたって培われたメインフレームのセキュリティ技術をベースとした各種ソリューションを提供し、情報漏洩に対する防止策を支援します。



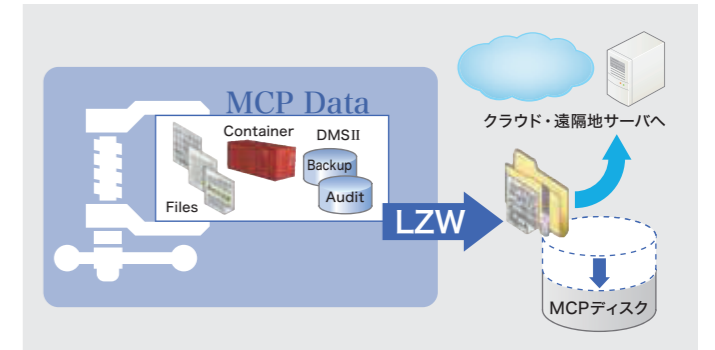
#### ●データの暗号化：MCPテープ暗号化

テープ暗号化機能は、3DESまたはAESに対応する暗号化アルゴリズムに基づいて、安全にCS470Lシリーズ内のデータをテープに読み書きする暗号化ユーティリティです。MCP OS環境から暗号化/復号化の操作が可能であり、テープスタック機能と併用することで、既存テープ資産を安全かつ効率的に保存することができます。

#### データ圧縮機能

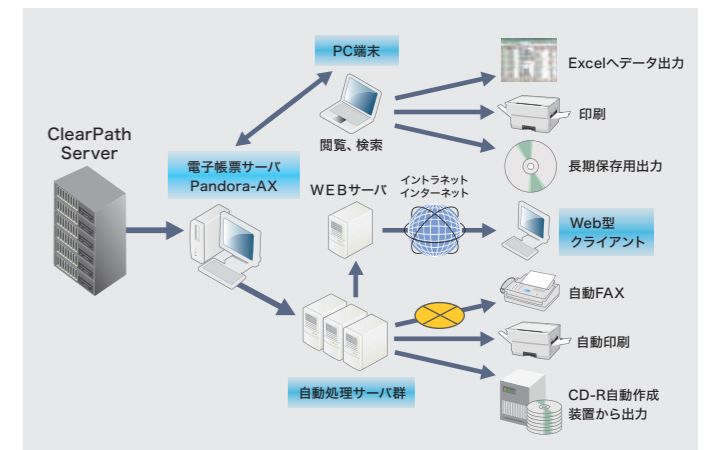
データ圧縮機能は、MCP上のデータをLZW方式で圧縮を行います。ファームウェアで実装しているため、実装していない機種と比べて、MCP上のCPUのオーバヘッドを最小限に抑えています。

- WRAP/UNWRAP機能でファイルの圧縮および暗号化が行えます。
  - DMSIIデータベースのバックアップや追跡記録ファイルの圧縮を支援します。
  - データ圧縮を行うためのプログラム・インターフェース(API)を提供します。
- WRAPの圧縮機能によりデータベースのバックアップのような大きなデータファイルを圧縮することで、外部サーバ等で保管をする際のネットワーク負荷を低減することができます。さらに、WRAPしたデータを暗号化することで、セキュリティを強化することができます。



### ホスト帳票を電子帳票に変換：UNIREP®-V

電子帳票システム UNIREP-Vは、ホスト上で作成された帳票データを変換しWindows®Server上で稼働するPandora-AX®サーバに格納、クライアントPCから野線付き表示、検索、印書などを実現するソフトウェアです。



## ■CS470Lシステム

機種	ClearPath Server CS470L
タイプ	タワー型/ラック型
CPU 搭載数	2 (インテル・8コア・プロセッサ)
プロセッサタイプ	Intel®X64 Xeon® Processor 2.6GHz
IE (Image Enabler)	972-2,430RPM
メモリ容量	64GB
内蔵ディスク	600GB x 2 + 300GB or 600GB x 14
最大I/Oスロット数	PCIe x 8
Operating System	MCP 17.0
外形寸法 (mm)	タワー: 304.5 (W) / 708.7 (D) / 443.5 (H) ラック: 434.5 (W) / 692.8 (D) / 217.9 (H)
本体重量	最大構成時: 41.8kg 注1)
電源	タワー: 50-60Hz 単相100V (2個)、ラック: 50-60Hz 単相200V (2個)
消費電力	1100W
発生熱量 (BTU/時)	最大4100BTU/時
温度	動作時: 10°C ~ 35°C
相対湿度	動作時: 最大露点29°Cで10~80%

注1) 重量は本体モジュールのみの値です。

## ■磁気テープ装置

項目	ALP66型
インターフェース	FC (8GB)
ドライブ数	LTO Ultrium 6 x 1~2
データ転送速度	160MB/秒 (非圧縮)
記録方式	2,176トラック リニアサーペンタイン
記録容量	2.5TByte (非圧縮)

## ■LAN直接接続用通信制御装置

名称	Gigabit Eth-NIC
ホストとの接続形態	内蔵
最大回線速度	1000Mbps
最大制御回線数	イーサネットLANで4回線
プロトコル	TCP/IP

## ■プリンタ装置

名称	4000型レーザープリンタ	0550型リモートプリンタ	0205型リモートプリンタ	2000S型リモートプリンタ
ホストとの接続形態	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)
印字方式	LED書込み乾式電子写真方式	インパクト・ドットライン方式	インパクト・ドットライン方式	ドットマトリクス・インパクト方式
印字速度	4,000行/分	530行/分	205行/分	150字/秒
印字用紙幅	6.5~18インチ	3.5~16インチ	3.5~16インチ	3~16インチ



CS470L ラックキャビネット外観



CS470L タワー型システム外観

※ClearPath、ABSuite/エービスイートおよびLINCは、Unisys Corporationの登録商標です。

※UNIREPは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※Intel、インテルおよびXeonは、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Microsoft、Windows、Visual StudioおよびSQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※iPhoneは、Apple Inc.の商標です。

※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※Pandora-AXは、株式会社NTTデータビジネスブレインズの登録商標です。

※その他記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

## 日本ユニシス株式会社

●お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560

電話 03-5546-4111 (大代表)

<http://www.unisys.co.jp/>

Copyright© 2015 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.

本カタログに掲載されている文章、写真、イラスト、画像およびこれらを組み合わせた編集物は著作権法による保護を受けており、これらの著作権は、日本ユニシス株式会社に帰属するほか、第三者の著作によるものである場合は当該第三者に帰属しています。改良のため予告なしに性能・仕様を変更することがあります。また商品の色は印刷の都合により多少異なることがあります。

090001092-0 ㊦1507(250)